

一人ひとりと
向き合い社会復帰を
支えます

刑務所に入所、少年院に入院する人は年に1万7千人*。

その総数は減少している一方で、高齢者や障害を抱える人の割合が増えています。出所後に自立した生活を送り、二度と被害者を出さないようにするには、個々の状態や特性に合わせた支援が必要です。

作業療法士は国家資格を持つトリハビリテーションの専門職。一人ひとりの状況や取り巻く環境を評価し、社会で生活できるようにするための支援をその役割としています。作業療法士の活動の場は、病院や福祉施設のほか、学校、職場、地域のさまざまな場所へ広がっています。刑務所や少年院もそのひとつ。

作業療法士が司法の現場で取り組んでいることを紹介します。

*令和4年版犯罪白書より



一般社団法人

日本作業療法士協会

Japanese Association of Occupational Therapists

矯正施設での 作業療法士の 取り組みが 広がっています

刑務所には高齢者やさまざまな障害を抱えた受刑者が入所しています。障害の特性や心身機能の状態により、集団での生活の場に適應できない受刑者も多く、出所後の生活に向けて、個々の特性に合わせた支援が必要とされています。作業療法は、障害の種類や重症度、年齢も性別も問わず、幅広い人々を対象としており、生活のしづらさを抱える多様な受刑者に対応することができます。

刑務所 での作業療法士

- 作業遂行能力評価
- 意欲を引き出し能力向上を目指す機能向上作業
- 高齢受刑者を対象とした基本的な生活能力や対人関係スキルを身につけるプログラム
- 出所前の受刑者に対する社会復帰のための助言
- 心身に障害があり集団処遇が困難な受刑者の社会適應能力向上のための認知機能訓練や陶芸、園芸等

刑務療所 での作業療法士

精神疾患のある受刑者へ、段階的に心身の賦活を図り、集団適應を高めるための創作活動、グループミーティングやコミュニケーションスキルの練習などの集団活動

身体障害のある受刑者へ、福祉用具等の環境調整も含め、身体機能の回復を図り、日常生活の動作の自立を目指した訓練

少年院 での作業療法士

- 知的な障害や発達上の課題のある少年に対して認知機能を高めるためのトレーニング
- 将来の社会生活やキャリア形成に役立つさまざまな作業活動の体験

作業療法士 の役割



その人を理解する

一人ひとりの認知機能や身体機能、作業遂行能力を評価。生活の様子や成育歴、将来の希望、犯罪行為に至った経緯を読み解き、総合的にその人を理解します。

大事な作業活動を見つける

作業活動とは、日常生活活動、家事、仕事、趣味、対人交流など、人が営む生活行為のこと。その作業活動にはそれぞれの個別的な目的や価値があり、その人にとっての大事な作業活動は社会復帰の糸口となります。

居場所と出番へ繋げる

矯正施設には刑務官、教育や福祉の専門官、医療スタッフなど多くの人が勤務しています。作業療法士も職員の一員として刑務所内外の様々な人と協力します。

作業療法士とは？

日本に約11万人いる、リハビリテーションの専門職。病院や介護施設をはじめとして、福祉や教育などの領域でも活動しています。

3つの能力の改善をめざします

基礎的
能力

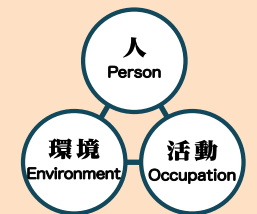
応用的
能力

社会的適應
能力

身体機能の維持向上だけでなく、社会生活を営むための社会的適應能力にも働きかけます

総合的なアセスメントを行います

対象とする人自身の身体機能や認知機能、その人をとりまくモノや人といった環境、行う「作業活動」そのものの特性を分析し、「どうすればできるようになるか」総合的に考えます



幅広い人と集団が対象です



障害の有無に関わらず、日々の暮らしで生きづらさを抱える方々に作業療法の専門性は活用することができます



医療観察制度でも、 チームの一員として

医療観察制度は、心神喪失又は心神耗弱の状態^{*}で重大な他害行為を行った人に対して、適切な医療を提供し、社会復帰を促進することを目的とした制度です。

作業療法士は多職種チームの一員として、対象者が治療を受ける病棟^{*}でクライシスプランの作成やケア会議への参画、回復のステージに応じたプログラムを実施しています。退院後に外来通院する病院^{**}では、地域の関係機関と連携し、地域生活を継続するための関わりを行います。

*指定入院医療機関
**指定通院医療機関

また、保護観察所の社会復帰調整官として、生活環境の調査、生活環境の調整、精神保健観察等の業務を行い、社会復帰を支えている作業療法士もいます。

(社会復帰調整官の採用要件のひとつに作業療法士資格があります)



社会復帰後の 支援にも携わっています

犯罪をした人または非行のある少年が、社会のなかで更生するように、保護観察官および保護司による支援を行う保護観察。

作業療法士は、保護観察官や保護司として、また、保健所職員や出所者を受け入れる障害福祉サービス事業所のスタッフとして、地域のなかで更生を目指す対象者の支援を行っています。



Occupational
Therapist

お気軽にご相談ください。

一般社団法人 日本作業療法士協会 または
各都道府県の作業療法士会 まで
ご連絡ください。

www.jaot.or.jp

一般社団法人 日本作業療法士協会 東京都台東区寿 1-5-9 盛光伸光ビル7階 TEL. 03-5826-7871 FAX. 03-5826-7872